



宮城県

古川農業試験場

Furukawa Agricultural
Experiment Station

faes

国産小麦セミナー

栽培事例報告：宮城県の事例

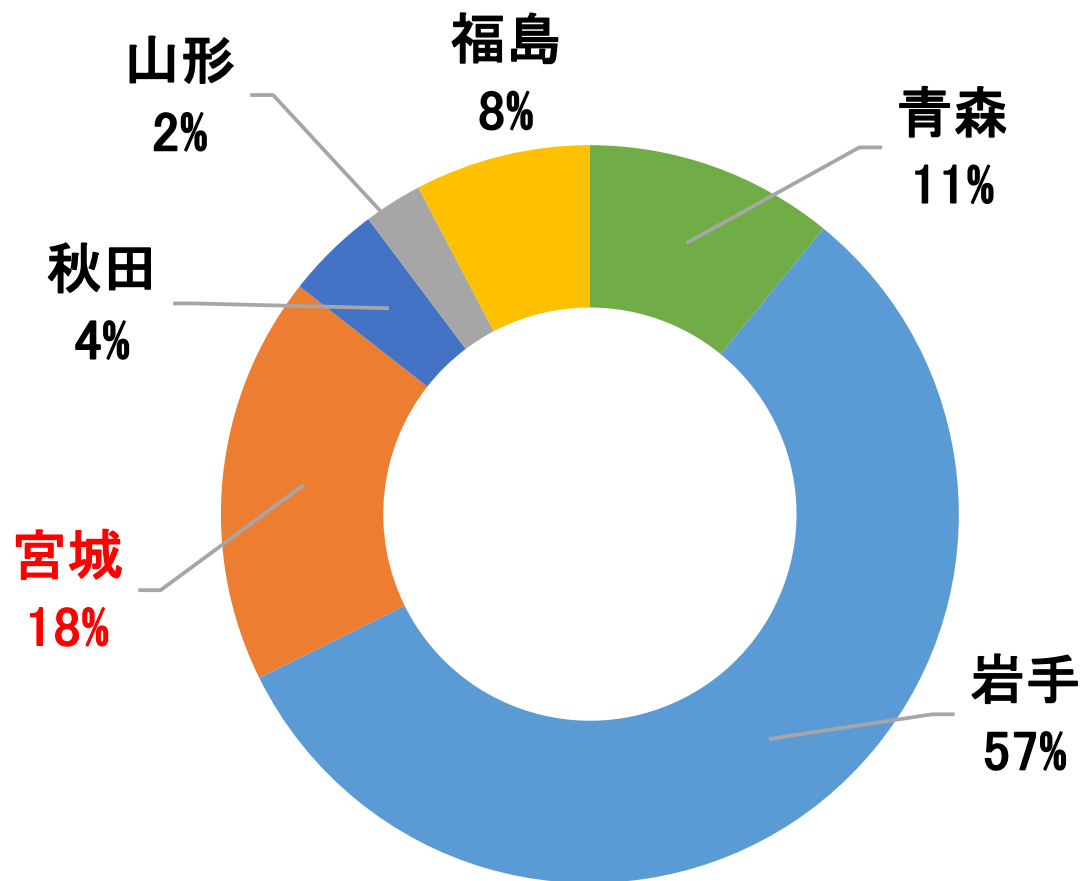
宮城県古川農業試験場
作物栽培部 佐々木崇

令和8年1月22日



1. 宮城県産小麦と「夏黄金」について
2. 産地での栽培について（涌谷町）

東北における小麦作付割合（令和7年産）

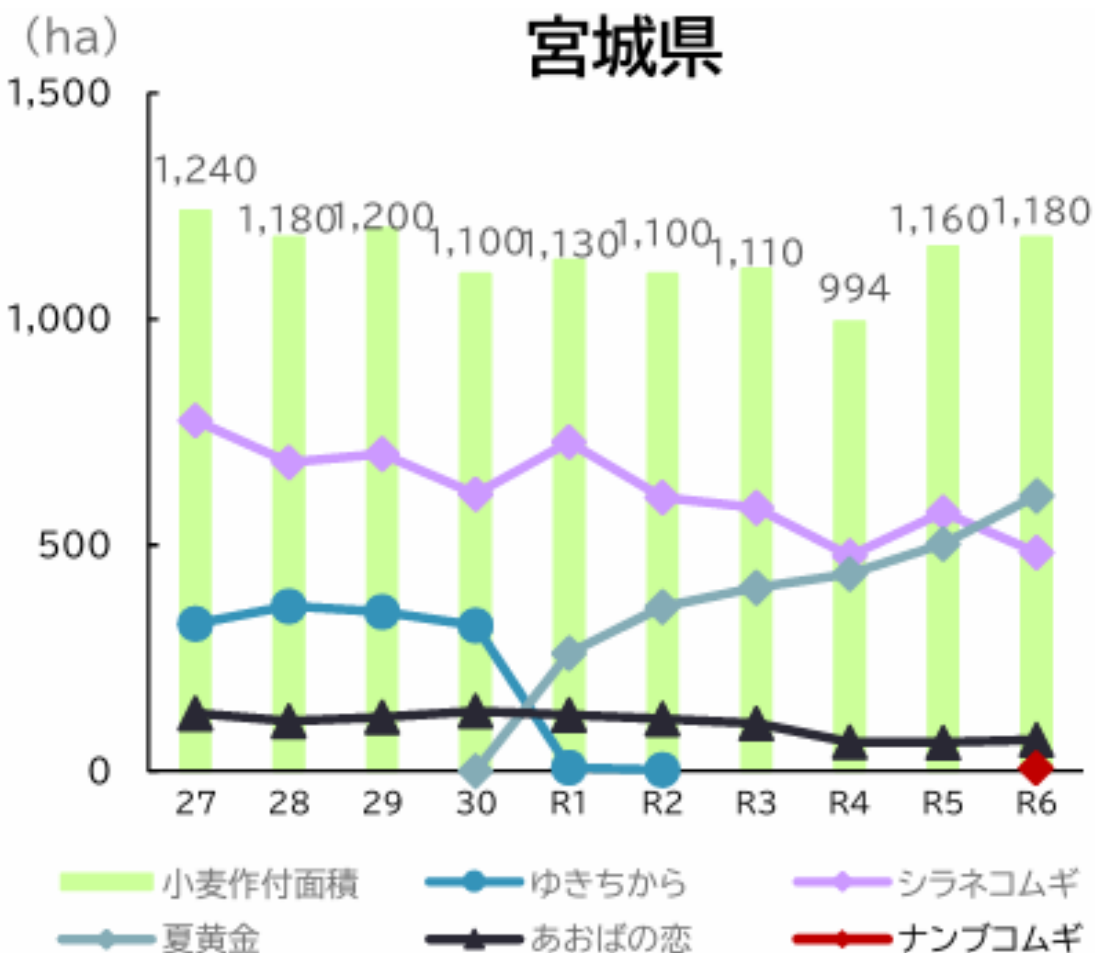


■ 青森 ■ 岩手 ■ 宮城 ■ 秋田 ■ 山形 ■ 福島

図：令和7年産小麦 東北地域県別作付面積割合

農水省作物統計に基づき作成

宮城県で栽培されている小麦について



令和6年産の作付割合

1位「夏黄金」

2位「シラネコムギ」

3位「あおばの恋」

作付されている小麦の
大半が夏黄金

「夏黄金」の特徴

穂の写真



夏黄金 ゆきちから 銀河のちから ナンプコムギ
各品種2本（正面と側面）

粒の写真



夏黄金 ゆきちから 銀河のちから ナンプコムギ

写真2 「夏黄金」の穂および粒標本

●「ゆきちから」より多収

古川農試 1 1 3 %（ゆきちから比）

現地調査 1 0 7 %（ゆきちから比）

●「ゆきちから」より赤かび病に強い

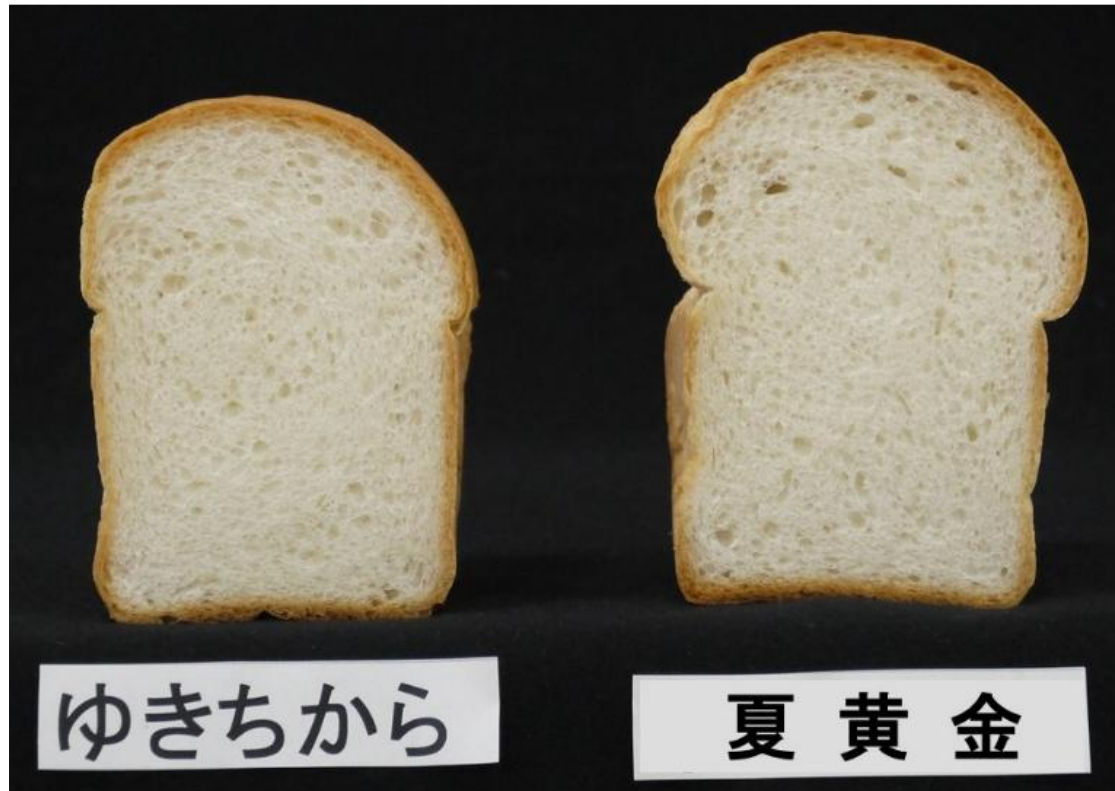
ただし「中」程度の強さなので同様の防除は必要

●穂発芽性が「難」

「ゆきちから」より穂発芽しにくい

引用・参考文献：農研機構研究報告 東北農研120, 1-20 (2018) :
製パン適性に優れる寒冷地向け強力小麦新品種「夏黄金」⁵の育成

「夏黄金」の特徴



図：食パンの比較(東北農業研究センター)による製パン試験

●製パン適性が優れる

たんぱく質含有率の年次変動が小さく、パン生地の物性は「ゆきちから」より優れる

宮城県農政部みやぎ米推進課：

「パン・中華めん用小麦「夏黄金」栽培マニュアル」から抜粋

「夏黄金」の特徴

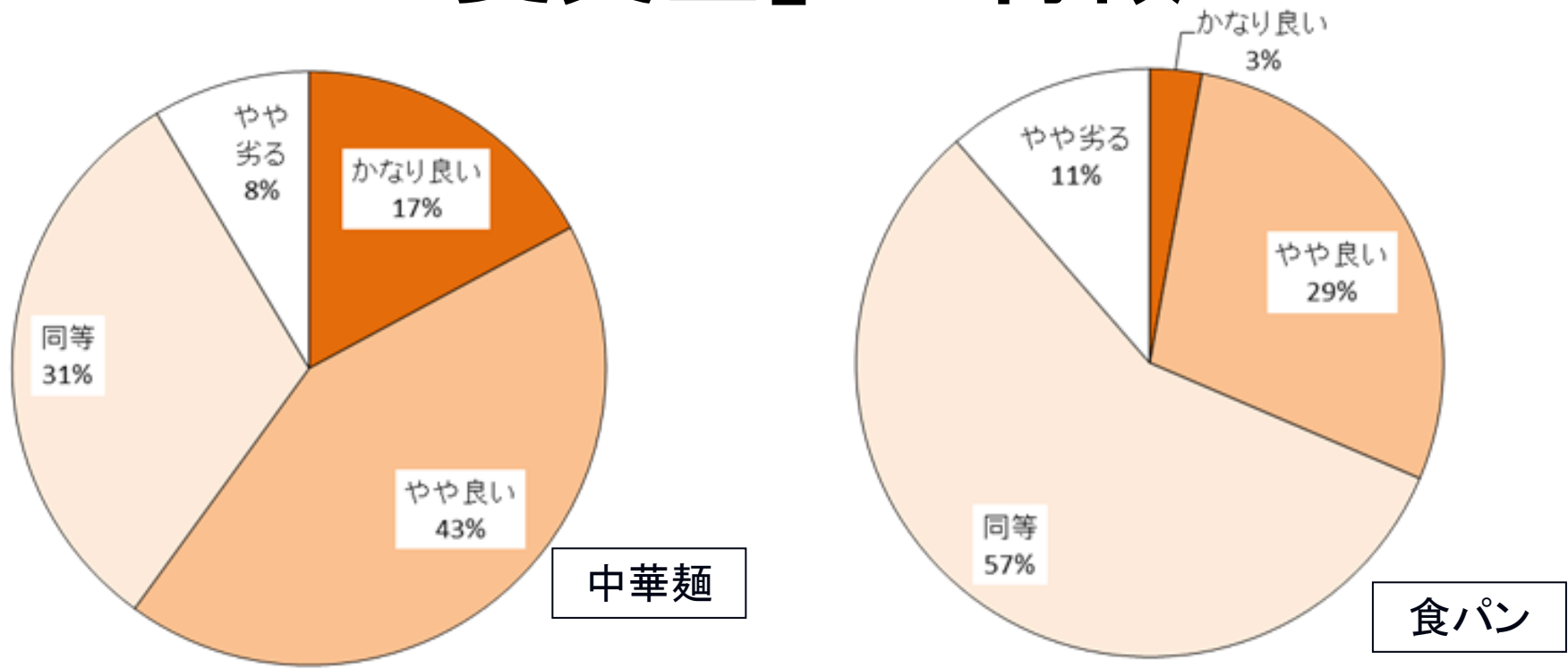


図 市販品(輸入麦使用)を対照とした「夏黄金」試作品の評価

注1) 平成27年涌谷町産を用いて、各業者が試作

注2) 平成28年6月に開催した東北農研主催「小麦有望系統現地
実証試験現地検討会及び試食会」での評価（出席者約70名）

・「夏黄金」単品で中華麺・食パンともに

輸入麦と遜色のない製品がつかれる。

「夏黄金」は学校給食パンに

宮城県の学校給食パンでは
令和4年度より国産小麦粉100%使用

- 宮城県産 夏黄金 40%
- 宮城県産 シラネコムギ 10%
- 北海道産 ゆめちから 50%

引用：みやぎ学校給食だより2022. 2



宮城県学校給食のYoutubeでは小麦栽培からパンの生産までを「おいしいパンができる」で紹介しています

図：公益社団法人宮城県学校給食のYoutubeチャンネル

1. 宮城県産小麦と「夏黄金」について
2. 産地での栽培について(涌谷町)

涌谷町での「夏黄金」の栽培状況について

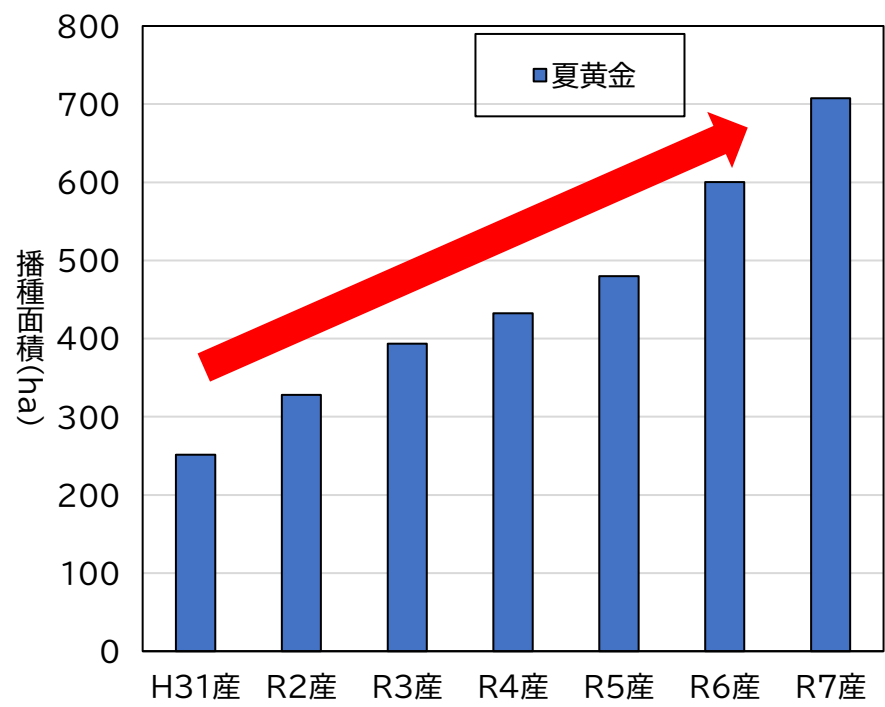
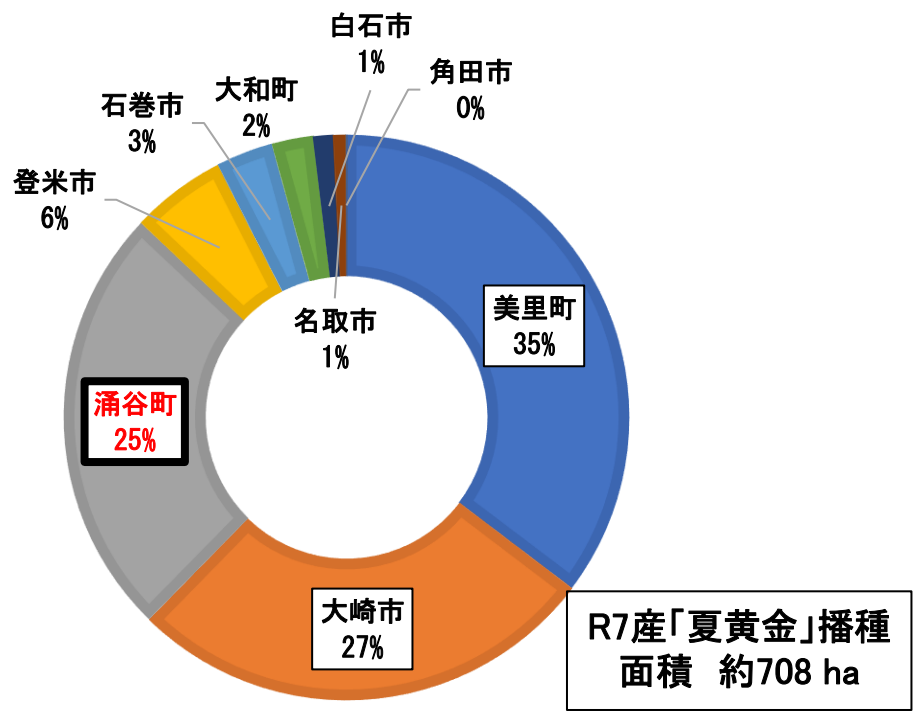


図 宮城県産夏黄金の播種面積の推移



図：宮城県のR7産夏黄金の市町村別の播種面積割合(%)

宮城県農政部みやぎ米推進課調べ

- ・ 県内の「夏黄金」の作付は**拡大中 (R7産で約708ha)**
- ・ うち令和7年に**涌谷町**で栽培された「夏黄金」は175haで県全体の**約25%**

涌谷町での「夏黄金」の栽培について

「夏黄金」栽培ごよみ																																																
月旬	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月																				
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																				
生育ステージ				出芽期															幼穂形成始期			幼穂形成期			節間伸長期			茎立期			減数分裂期			出穂期			穂期			開花期						成熟期		
主な作業	播種準備			播種 土壌処理剤散布			踏圧（越冬前）			土壌兼茎葉処理剤散布			踏圧（越冬後）			幼穂形成期追肥			茎葉処理剤散布			減数分裂期追肥			穂期追肥			（1回目） 赤かび病防除			（2回目） 赤かび病防除			（3回目） 赤かび病防除			収穫											
ほ場の準備							施肥及び播種							栽培管理							追肥							収穫及び乾燥調製																				
<ul style="list-style-type: none">排水対策<ul style="list-style-type: none">弾丸暗きよ 本暗きよに直交させ、2～3m間隔で施工する。明きよ 10～30m間隔で施工し、排水路につなぐ。酸度矯正<ul style="list-style-type: none">土壌pH 6.0～7.0 土壌診断を行い、苦土石灰で矯正する。砕土率<ul style="list-style-type: none">70%以上 耕起は土壌水分が低いときに行う。有機物施用<ul style="list-style-type: none">堆肥 1～2t/10a							<ul style="list-style-type: none">基肥（10a当たり成分量）<div>窒素 リン酸 加里</div><div>8～10kg</div><div>※稲わらをすき込む場合は窒素成分を10～20%増やす。</div>播種適期<div>北部平坦地域 10月10～20日</div><div>南部平坦地域 10月20～30日</div>播種量<ul style="list-style-type: none">10a当たり10kg播種適期から遅れた場合は播種量を増やすが、多くても15kg以内とする。播種深<ul style="list-style-type: none">3cmを目安とする。							<ul style="list-style-type: none">雑草防除 図1参照赤かび病防除 図2参照踏圧（麦踏み）<ul style="list-style-type: none">越冬前 1回（3～4葉期）越冬後 1～2回（融雪後～茎立期）耐寒性強化、凍上害防止、生育均一化等のため、上記を目安に踏圧を行う。 <p>※「夏黄金」は、遅れ穂の発生を抑制するため、必ず踏圧を行う。</p>							<ul style="list-style-type: none">追肥量（10a当たり窒素成分量）<div>幼穂形成期 2.5kg（硫安12kg）</div><div>減数分裂期 5.0kg（硫安24kg）</div><div>穂期 5.0kg（硫安24kg）</div>追肥時期の目安<div>幼穂形成期 幼穂長が2～3mm程度</div><div>減数分裂期 幼穂長が30～50mm程度</div><div>穂期 ほとんどの茎が出穂</div> <p>※たんばく質含有率を高めるため、穂期追肥を必ず行う。</p>							<ul style="list-style-type: none">成熟期の判定<ul style="list-style-type: none">茎葉、穂首が黄化子実のほとんどが指でつぶせない収穫適期<ul style="list-style-type: none">子実水分30%以下（成熟期3日後頃から）乾燥<ul style="list-style-type: none">穀温が40℃を超えないよう送風温度を調整する。調製<ul style="list-style-type: none">篩目 2.4mm子実水分 12.5%以下																				

図 「夏黄金」栽培ごよみ

宮城県農政部みやぎ米推進課：

「パン・中華めん用小麦「夏黄金」栽培マニュアル」から抜粋

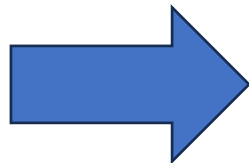
- ・ おおむね県栽培ごよみどおりに栽培。
- ・ 夏黄金の赤かび病防除は、JAによる一斉防除で **3回防除**を徹底。

「夏黄金」の収量や品質向上のための取組



「夏黄金」収穫

収穫物の運搬



CEで荷受・乾燥・調整

- ・ 乾燥・調製をJAカントリーエレベータ（CE）で行っている
- ・ それにより適期刈り取りや大面積での栽培がしやすい

まとめ

- 「夏黄金」は県内で最も作付けされている小麦品種
- 「ゆきちから」より赤かび病に強く、製パン性に優れる
- CE調製や堆肥の活用により収量、品質の維持向上に取り組んでいる。

本スライド作成にあたって、産地の情報を提供していただきました

美里農業改良普及センターの酒井技術主任主査に深く感謝いたします



宮城県

古川農業試験場

Furukawa Agricultural
Experiment Station



ご清聴ありがとうございました

